



記者発表資料

(県政・東近江同時)



提供年月日：令和8年(2026年) 2月17日
部 局 名：文化スポーツ部
所 属 名：文化財保護課
係 名：安土城・城郭調査係
担 当 者 名：松下
連絡先(内線)：077-528-4678 (内線 4678)



こんな話、二度と聞けないぞ！

「幻の安土城」復元プロジェクト・歴史セミナー
「万博国際交流セミナー」



バチカンと日本・東アジア その歴史的交流

イエズス会の宣教師アレッサンドロ・ヴァリニャーノは、1579年に来日して以来、2度安土を訪れ、織田信長と出会っています。2度目に会った時、信長は安土城と城下町を描かせた「安土山図屏風」をヴァリニャーノに贈りました。

「安土山図屏風」はヴァリニャーノが発案した天正遣欧使節によって、ローマ教皇グレゴリウス13世に献上され、教皇はこの屏風を宮殿内の「地図の廊下」に飾りました。しかしその後屏風は行方知れずとなり、現在もその所在はわからないままです。安土城の姿を描いた唯一の絵画資料である屏風の所在を求めて、これまでも調査が行われましたが、いまだ有力な手掛かりは得られていません。令和元年度にスタートした「幻の安土城」復元プロジェクトの中でも、屏風探索事業に着手し、屏風に関する情報収集を行うとともに、屏風の贈り先であるバチカン市国とも交流の機会を持ちました。

さて、このたび、昨年4月から10月に開催された大阪・関西万博を契機とする、滋賀県とバチカンとの交流事業として、バチカン図書館からクララ・ユ・ドン先生をお招きし、このセミナーを開催します。バチカン図書館の中国・極東部門の統括者として、関係資料に精通したユ・ドン先生にバチカンにおける日本や東アジア関係資料の概要についてお話しいただき、「安土山図屏風」の行方を考えるヒントが得られるものと期待しています。

セミナーの概報

(1) 日時 令和8年3月3日(火) 14時~16時 ※13時30分開場

(2) 会場 コラボしが21 3階中会議室 滋賀県大津市打出浜2番1号

※会場には来客者用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用の上、ご参加願います。

(3) 内容

14:00～15:00 講演「バチカンの日本・東アジア文化」 ※英語通訳付き

クララ・ユ・ドン氏（バチカン図書館司書・研究員）

クララ・ユ・ドン

バチカン図書館の中国・極東部門の統括者。中国の古写本や貴重本の調査研究に従事。天正遣欧使節についても研究。

15:10～16:00 パネルディスカッション「バチカンと日本・東アジア その歴史的交流」

パネラー：クララ・ユ・ドン氏

木戸雅寿（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課参事員）

コーディネーター：松下浩（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課副主幹）

4. 定員 60名（事前申込制 先着順）

5. 主催 滋賀県

6. 参加費 無料

参加申込方法

1. FAX・電話・メールに、住所（市まで 番地不要）・氏名（ふりがな）・連絡先（携帯電話推奨）を記入の上、下記まで申し込み。
2. 申込締切 令和8年2月27日（金）午後5時

参加申込・問い合わせ

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課安土城・城郭調査係

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL：077-528-4678 FAX：077-528-4956 E-mail：castle@pref.shiga.lg.jp

城郭調査事務所 TEL：0748-46-6144